祝 山口市立 白石小学校 創立１５０周年

白石小学校だより

山口市立白石小学校
第　４　号
２０２２.６.３０発行

きっぱりと夏が来た

校　長　　伊　藤　　豊

例年より相当早い梅雨明け宣言に、正直驚いています。農作物等に影響を及ぼすような水不足が起きなければよいのですが。

さて、本当に暑くなりました。熱中症が心配ですので、学校ではマスクの着用に関して以下の線を基本にして指導しています。

（マスク着用の必要が無い時）

・十分な身体的距離が確保できる場合。
・屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業の際には、マスクの着用は必要なし。その際、児童生徒の間隔を十分に確保する。屋内で実施する場合には、呼気が激しくなるような運動を行うことは避ける、こまめに換気を行う。
・休み時間に屋外で遊ぶ際には、マスクの着用は必要なし。
・熱中症リスクが高い夏場においては、登下校時にマスクを外すよう指導するなど、熱中症対策を優先し、マスクの着用は必要なし。その際、人と十分な距離を確保し、会話を控えることについても併せて指導する。

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル
～「学校の新しい生活様式」～(2022.4.1Ver8)」に準じる。

こうした基本線に従い、学級担任からも声をかけ、私自身も全校児童に向けて放送を使ったり、休み時間や下校時に直接呼びかけたりしています。加えて、早め早めの水分補給の必要性も伝えています。子供たちの健康維持は、教育活動の基本です。ご家庭でも、熱中症予防にお努めください。

３６０°図鑑

山口市教育委員会とYCAM（山口情報芸術センター）の支援を受け、６年生が２学期より３６０°図鑑作成に取り組みます。簡単に言いますと、ここ白石地区を３６０°見渡しながら、白石のすばらしさや新たな発見をWEB上にて紹介する取組です。６年生は、今取り組んでいる「あいらぶ白石」での学習成果を、一人一台端末で表現していきます。この取組には、昨年度、生雲小学校が参加しました。本年度は秋穂小学校と本校が参加します。先日、３校をZOOMでつなぎ、初めましての会を開催しました。成果発表は、３学期の予定ですが、開校１５０周年にふさわしい学習成果が期待されます。

７月の行事予定

日	曜	校内行事
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	４せいの日・短縮５校時（全校下校 14:30）
5	火	短縮５校時（全校下校 14：30）
6	水	つくし活動
7	木	つくし活動
8	金	つくし活動・６年市議会見学（午前中）
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	全校５校時授業・下校 15:05
13	水	学期末個人懇談会①（下校 12：55）
14	木	学期末個人懇談会②（下校 12：55） ・４せいの日
15	金	学期末個人懇談会③（下校 12：55） ・ＳＣ来校（9:00～12:00）
16	土	
17	日	
18	月	（祝）海の日
19	火	給食終了・水泳指導終了・全校下校 14：30
20	水	終業式（下校 11：20）
21	木	子ども熟議（６年生参加）
22	金	子ども熟議（予備日）
23	土	
24	日	
25	月	ＰＴＡ環境委員カーテン取り外し予定日
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	防災キャンプ（おやじの会）
31	日	

☆８月２２日（月）は登校日です。
　全学年　通常登校　下校 10:00
★２学期は、９月１日（木）から始まります。
　全学年　下校 13:10（給食あり）

水泳学習開始

６月中旬から、水泳学習が始まっています。５・６年生がプールをきれいに掃除してくれたので、気持ちよく水泳学習に取り組めています。今年度も感染症と熱中症の対策を図りながら実施しています。感染症対策として、授業を２学級ずつ行うことや、更衣場所を分散して一つの場所で更衣する人数を減らすこと、指導教員が水泳指導用マスクを着用することなどを行っています。児童は隣との十分な間隔を取り、しゃべらずに学習しています。熱中症対策では、水分補給を何度もさせるようにしています。そんな中でも、子どもたちは水に親しみ、自分の泳力を高めようと元気に水の中で体を動かしています。

水泳学習は身を守るための「命の学習」でもあります。７月いっぱい、事故のないように指導していきます。

人権教育参観日・講演会

６月１７日（金）５校時に、人権教育参観日を行いました。感染症対策のため、今回も１５分間のみの参観でしたが、保護者の皆様には短時間での参観へのご協力ありがとうございました。６校時は、ＰＴＡ教養委員会主催の人権教育講演会が行われました。ＮＰＯ法人せわやきネットワーク代表の児玉頼幸さんを講師に迎え、「子どもたちが未来に希望を持ち続けられる社会」づくりについての講話をいただきました。こども食堂を軸にした取組が、そこに関わる人たち全ての居場所と絆づくりにつながっていることを紹介してくださいました。家庭、学校、地域が力を合わせて、今後も子どもたちの豊かな心を育んでいく環境を整えていけるようにしたいですね。